

## 令和 8 年度全体委員研修会 開催内容（案）について

## 【方向性 1】防災をテーマにした体験・実践型

構成例：体験 120 分（4 メニュー程度）＋全体共有 15 分

⇒休憩・移動含め 全体 2 時間 30 分程度

- 防災は、すべての委員に関係がありとつきやすい。
- 最新の防災訓練メニューを各委員が地域や所属団体に持ち帰ることで、地域の防災訓練がブラッシュアップされることが期待できる。
- 地域教育コーディネーターを通じて、子どもたちも参加できるとなお効果的（平日午後なので授業との調整が必要）

## 【体験案 1】起震車（地震体験車）による地震体験



(新潟県ホームページより)

○防災知識を体験を通して普及することを目的として、実際に起こった地震の揺れを体験することができる。

- ・震度 2～7 が体験可能。
- ・小学生以上、4 名まで体験可能。
- ・雨天時は利用不可。
- ・県に 1 台しかなく、2 月に抽選。

## 【体験案 2】新潟県公式アプリ「新潟県防災ナビ」



(新潟県ホームページより)

○県内全域の洪水・土砂災害・津波などのハザードマップを閲覧する機能を有するアプリ。

- ・河川の水位グラフや観測データの確認、河川カメラでの状況確認ができる。
- ・土砂災害危険度情報の確認ができる。
- ・使い方についての動画あり。
- ・アプリのダウンロードが必要となる。

### 【体験案 3】 トイレトレーラー体験

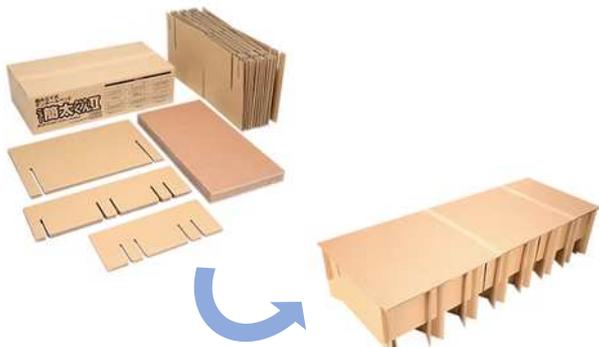


(中央区役所だより 令和6年6月2日第412号より)

○バリアフリートイレを含む3室の水洗トイレを完備。

- ・市内では中央区が導入。
- ・令和6年夏ごろから活用を開始。
- ・太陽光パネルがあり、停電時でも照明の使用が可能。

### 【体験案 4】 避難所物資設置体験



株式会社光永 HP より作成 (<https://www.koei-co.co.jp/bed>)

- ・ベッド、トイレ、投光器などを実際に組み立てて使用してみる。  
(写真は段ボールベッド)

### その他

- ・新潟県が開発中の避難者支援システムの体験 (別紙1参照)
- ・避難所鍵ボックスの開錠体験 (別紙2参照)
- ・災害時にも稼働できる移動歯科診療車の紹介 (別紙3参照)
- ・災害時の支援制度についての紹介 (別紙4参照)

参考 URL

起震車：新潟県 HP (<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/bosaikikaku/1202058051210.html>)

新潟県防災ナビ：新潟県 HP (<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kikitaisaku/1356921834049.html>)

## 【方向性2】講演＋意見交換（ワークショップ）

### 構成例

- ・ 講演 60分
- ・ ワークショップ 100分  
（テーマを決めて意見交換・5部屋25グループ想定）
- ・ 全体共有 25分  
⇒移動・休憩含め 全体3時間30分程度

○研修会実施後のアンケート結果で「講演」は一定のニーズがあるが、令和5年度以降実施していない。

（R6 全体委員研修3位、R7 新任委員研修1位、R7 全体委員研修2位）

○専門家の講演により、各委員の協働意識の向上が見込まれる。

○ワークショップのファシリテーターを専門家に依頼することも可能。

### <講演候補者（案）>

○合同会社コトプレイス 川口義洋 様



引用：<https://cotoplace.com/company>

- ・ 岡山県出身、一級建築士
- ・ 建築専門職として津山市役所で16年間業務に携わる
- ・ 2025年津山市役所を退職、合同会社コトプレイスを設立
- ・ 公共施設マネジメントに関する業務や、公民連携事業等に関するコンサル業務などを行う

- ・ 公民連携・公共施設の利活用等、実践例が多く、地域における事業運営に詳しいため。（秋葉区）
- ・ 地域コミュニティ協議会が自立的に運営、経営していくための方策について意見交換できるとよい。（秋葉区）

○信濃川大河津資料館コーディネーター 樋口勲 様



- ・平成13年から信濃川大河津資料館のガイドに関わる
- ・水辺の生きもの観察会や川下り体験などのイベントの企画運営を手がける
- ・そのほかにも川巡りツアーのガイド、川の講演会の講師などを行う

・「地域がつながる（あるいは地域はつながっている）」という意味で、新潟市の自治協全体での講演をしてもらいたい。（西区）

講演会「新潟市西区と大河津分水」チラシ

○特定非営利活動法人みらいず works



引用 : <https://miraisworks.com/>

代表理事 小見まいこ 様

- ・まちづくりパートナーシップ事業で子ども意見表明ファシリテーター養成講座などを開催。
- 子どもや若者の意見を聞き、寄り添い、意見を引き出すファシリテーションのスキルや、子どもの参画を促すプログラム作りを学べるもの。

・すぐに実践で使えるようなテーマが良い。「現代における子どものころ(考え方)と地域とのつながり」や「子どもと関わるときに気を付けた方がよいポイント」など。（東区）

その他（魅力発信）

○一般社団法人日本経営協会 講師 北野清晃 様（別紙5参照）